

令和4年 県政10大ニュース



新型コロナの影響が続くなかでも、各種の大型イベントの開催や全国旅行支援の再開など、徐々にですが日常が戻ってきた1年でもあったと思います。



第1位

就任から1年半で千葉県54市町村全てを訪問

就任以来行ってきた現地視察に加えて市町村長と直接対話する取組において54市町村全てを訪問したことになります。

県・市町村間の課題解決のスピードアップ、お互いの戦略の早期共有などのため、今後も市町村との連携を密にしていきます。



第2位

「ちばアクアラインマラソン2022」開催

（空と海しかない景色は本当に格別）

4年ぶりに「ちばアクアラインマラソン2022」が開催されました。私もハーフの部を完走することができました。アクアラインの「空と海しかない景色は本当に格別」で、見渡す範囲全て青、といった感じでした。参加した約1万5千人のランナーが、沿道の温かい声援とおもてなしを受けて走りました。

大会を支えて頂いたスポンサー、実行委員、ボランティア、地元、関係者の皆さまに心から感謝します。



第3位

ウクライナから避難されてきた方への支援



千葉県では避難されてきた方が安心して過ごせるよう、避難された方々の実情に即して各種生活支援を実施しています。

また、独自に避難された方に当座の資金として見舞金1世帯10万円支給を決定しました。

第4位

物価高騰対策 （生活者や事業者への支援を実施）

急激な円安進行や資源高の影響による物価高騰対策を行いました。

★生活者支援

県では県内の消費を喚起し、経済の活性化につなげるため、ポイント還元キャンペーンを実施しました。



第5位

千葉県総合計画 「新しい千葉の時代を切り開く」を策定 「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現

千葉県が目指す10年後の姿と今後3カ年の重点施策を取りまとめ、県政運営の基本となる総合計画を策定しました。県民の皆さまが生きる価値、働く価値を実感できる未来の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

第7位

国内最大の夏フェス「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」が今年から本県の千葉市蘇我スポーツ公園で開催

千葉は春夏冬と多くのフェスが結集する音楽の街、県となりました。多くの方に愛してもらえるイベントとなるよう、主催者と連携して取り組んでいきます。

第8位

公立学校に通う第3子以降の給食無償化

都道府県が給食費無償化に対して支援するのは全国初となります。



第9位

北総鉄道 運賃値下げの実施

北総鉄道や関係者のご努力に敬意を表するとともに、この値下げが沿線の発展に繋がるよう、沿線市と連携して活性化に取り組みます。



第10位

東京湾アクアライン通行料金800円の継続

県内での滞在時間を最大化するなど、経済効果を最大限発揮する方策を国とともに研究していきます。

スポーツの力を感じた1年

～千葉県ゆかりの選手達の活躍～

◎FIFAワールドカップ日本代表 柏市出身の酒井宏樹選手の活躍

◎3年ぶりに国民体育大会、4年ぶりに全国障害者スポーツ大会が開催

「いちご一会とちぎ国体」開会式に出席、選手団団長として行進にも参加しました。



番外編

★高校野球千葉県大会

3年ぶりにプラスバンド等も入ったの完全有観客での大会です。開幕試合で始球式を務めました。

★生涯ゴールデンラム・国枝慎吾選手

国枝慎吾選手が見事、単複制覇、そして生涯ゴールデンラムも達成です！

★世界最大のアクションスポーツの国際協議会

「X Games Chiba 2022」が千葉市で開催。

◎「千葉とく旅キャンペーン」・「千葉県版GoToイート」

新型コロナウイルスの感染状況を眺みながら、観光需要の喚起、飲食需要喚起に取り組みました。

◎チバニアンにゴールデンズパイク設置



X Games Chiba 2022